

はじめまして

経皮的(子宮動脈)塞栓術を初めて受ける患者様へ

スタッフの紹介

血管造影室には医師・看護師・放射線技師がいます
いつでもお声掛けください



血管造影室入り口



血管造影室



血管造影室 室内の様子



病棟での準備

- 水分・食事制限があります
- 点滴をします
- 膀胱留置カテーテル(尿の管)を入れます
- 下着を全部外し、検査用の青い病衣に着替えます
- 弾性ストッキングをはきます
- 両方の足の付け根の部分の毛そりを行います
- 足の甲の動脈の確認を行います



時間

- 当日は、他にも同じ治療を受けられる方、他の治療・検査を受けられる方もいらっしゃいます
- 検査・治療によって時間が異なります
- 緊急で優先して治療を要する方がいらっしゃる可能性があります



治療を行う時間をお伝えする事は難しく、血管造影室から病棟へ電話での連絡となります。ご了承をお願いいたします。

注意

- アレルギーはありませんか？
- 血をサラサラにするお薬（抗凝固剤）は内服していませんか？また、医師の指示通り中止していますか？
- 透析のシャントはありませんか？
- 処置をしてはいけない部位はありませんか？
- 喘息と診断されたことはありませんか？



治療準備

- 治療のベッドへ移り、仰向けに寝て頂きます
- 血圧計や心電図等の装着、酸素の投与、両足の付け根の消毒を行います
- 少し眠くなるお薬の投与を行います
- 治療が始まると手足、体を動かすことができません

どんな事でも構いません。何かありましたらスタッフにお知らせください。

治療開始

- 両足の付け根のあたりに、局所麻酔を行います
カテーテルが入り始めるころには、痛みはなくなります
- 治療は何度も血管の写真（血管造影）を撮影しながら進めていきます

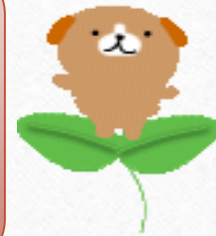
造影剤を使用します。体が熱く感じますが、造影剤の作用ですので、ご安心ください。



治療中:2

- カテーテルが子宮を栄養する動脈に到達したら、薬を注入していきます

吐き気やおなかの痛み等が出てくる場合があります。
症状を緩和する薬剤の投与が可能です。我慢せずにお知らせください。



- 血圧測定を頻繁に行います。その際に痛みを感じることもあるかもしれません。

治療中:3

- 薬剤によるアレルギー症状



局所麻酔薬、造影剤、治療の薬剤を投与します。
喉のイガイガ感、吐き気、体のかゆみ等の症状がありましたら、
必ずお声掛けください。

治療終了

- 治療終了後、ベッドへ移動します
- 両足のつけ根に入っている管を医師が抜きます

管は動脈に入っています。止血するために15分程、手で強く圧迫します。

- 止血が確認できたら、管を抜いた部分をテープで圧迫します

テープにかぶれやすい方はお声掛けください



治療後の安静

- 次の日までベッドでの安静となります

カテーテルを入れていた部分の再出血や血腫（血の塊）の原因となりますので、必ず安静をお守りください



- 安静中は足の血流が悪くなっている状態で、血栓ができやすくなります。足首を動かす運動を心がけてください。この時、足の付け根は曲げないように注意してください。

治療後の飲食

- 水分は病室に戻り次第、摂っていただく事ができます

治療中は造影剤をたくさん使用しています。造影剤は尿から排泄されますので、水分制限がなければ、できるだけたくさんの水分を摂ってください。

- 食事は夕食から可能です

ベッド上での安静時間です。無理のない程度で結構です。



治療後の症状

- 数日、不正出血・発熱・おなかの痛みが出たり、食欲不振が続いたりすることがあります



治療に伴う影響なので、日経つにつれて軽減してきます。辛いときには、病棟看護師にお声掛けください。

聞きたいQ & A

- Q:治療時間はどれくらい？

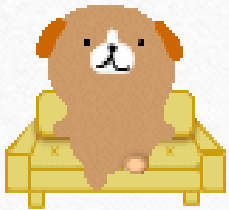
A:個人差はありますが、2～3時間です

- Q:治療中同じ姿勢が心配...

A:腰痛がある、足をまっすぐに長時間伸ばせない方は、スポンジ等を使用し、できるだけ楽な姿勢がとって頂けるよう配慮いたします。治療の準備の際に、ご相談ください。

聞きたいQ & A

- Q:カテーテルの痛みは？



A:歯医者さんで歯を抜く時と同じ局所麻酔薬を使用します。麻酔の注射の痛みはありますが、しっかり麻酔をすることにより、カテーテルを挿入するときには痛みはなくなります。それでも、痛みが続く場合はお声掛けください。

聞きたいQ & A

- Q:造影剤のアレルギーが心配...

A:CT検査で使用する造影剤と同じ造影剤です。CT撮影の時よりも熱く感じる事がありますが、心配いりません。
喘息の既往がある方、お薬や造影剤で以前にアレルギー症状が出現した方は、必ずお伝えください。



聞きたいQ & A

- Q:治療後の安静時間は？

A:

- 治療後4時間はまっすぐ上向きのままです。足を曲げることができません。
- 6時間後に足の付け根の圧迫テープを医師が外しに行きます。
針を刺したところに異常がなければ、座ったり横を向いたりすることが可能です。
- 次の日の朝から歩行は可能になります。

聞きたいQ & A

- Q:膀胱留置カテーテルは入れないといけない？



A:治療中たくさんの造影剤を使用します。造影剤を体外に排出するため、点滴をたくさん投与します。治療中の尿量の管理を行うため、膀胱留置カテーテルが必ず必要となってきます。また、治療中・治療後の安静時は、体を動かすことができなかったり、次の日の朝までトイレにはいきません。

終わりに

- 治療の流れはおわかりになられたでしょうか？
初めての治療で不安も大きいと思います
どんなことでも気兼ねなく お尋ねください



関西医科大学附属病院 血管造影室

H30年1月